

## 案件概要書

2026 年 8 月 25 日

**1 基本情報**

- (1) 国名：エチオピア連邦民主共和国（以下、「エチオピア」という。）
- (2) 事業地域名：アディスアベバ市（人口：約 620 万人）
- (3) 案件名：エチオピア航空管制アカデミー機材整備計画  
(The Project for the Improvement of Equipment of Ethiopian Civil Aviation Training Academy)
- (4) 計画概要：  
エチオピア航空管制アカデミー（ECATA）に対し、航空管制に係る実務能力向上のための機材整備及び訓練を行うことにより、質の高い航空運用訓練を提供可能な体制強化を図り、もって航空管制能力の向上を通じた、同国のインフラ開発に寄与する。

**2 計画の背景と必要性**

- (1) 本計画を実施する外交的意義

エチオピアは、「アフリカの角」の要衝に位置し、アジア、中東、欧州等とアフリカ大陸を繋ぐ航空輸送の結節点として、地政学的重要性が高い。アディスアベバ・ボレ国際空港は、アフリカ域内及びアジア地域とアフリカ各国を結ぶ航空輸送の主要ハブであり、エチオピア航空は成田・アディスアベバ間のフライトを運航しており、アディスアベバ経由で欧州やアフリカ各地に渡航する日本人の乗客も多い。

本計画で機材の整備を行う ECATA は、ジブチ、ソマリア、コモロ、リベリア等の周辺国の研修生も受け入れる地域訓練拠点であり、航空管制官の能力向上により、アディスアベバ空港及び東アフリカ諸国の空港管制の安全・効率的な運用が可能になることで、地域の連結性の強化につながることが期待される。

本計画は、2026 年 5 月に発表された進化した「自由で開かれたインド太平洋(FOIP)」の重点分野である「連結性の強化及びルール整備」に合致するとともに、2025 年 8 月の第 9 回アフリカ開発会議（TICAD9）で発表された日本の取組の一つである「地域統合、アフリカ域内外との連結性強化」への貢献を示す具体的な案件として位置付けられるため、外交的意義は高い。

- (2) エチオピアにおける運輸（空港）セクターの課題及び本計画の位置付け

国際航空運送協会によれば、世界の航空旅客需要は 2050 年までに 2 倍以上に拡大し、アフリカ（年率 3.6%）がその主要なけん引役となると予測されている。アフリカ域内有数の規模を誇るボレ国際空港は、2023/24 年度の利用者数が約 1,710 万人に達し、飽和状態に近づきつつある。エチオピア政府は、2030 年の運用開始を目指し、アディスアベバ南東にビショフツ国際空港の建設を進めており、既存空港との同時運用により発着便数の大幅増加が見込まれている。

こうした急速な航空需要の拡大に対応するため、航空管制を安全かつ適切に運用で

きる人材の育成・確保が喫緊の課題となっている。ECATA は、エチオピア民間航空局（ECAA）傘下の中核訓練機関であり、2024 年度に管制官 57 名、管制技術官 29 名等を輩出しているが、訓練機材の不足や老朽化により初期訓練、実地訓練、定期訓練の同時実施に制約が生じており、シミュレーター等の動作・再現性も最新の訓練環境と比べて劣っている。エチオピア政府が策定した 2022 年から 2052 年を計画期間とする運輸分野のマスタープランでは、航空インフラ機能の強化及び航空分野人材の能力向上は優先分野として明確に位置付けられているところ、本計画による同国の航空管制能力向上は、同国の運輸セクター開発において極めて重要である。

### 3 計画概要

\* 協力準備調査の結果、変更される可能性あり。

#### (1) 計画内容

- ア 機材：飛行場管制シミュレーター（タワー管制）一式、レーダーシミュレーター（上空管制）一式、通信・航法・監視訓練設備機材一式
- イ コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネント：詳細設計、入札補助、調達監理、ソフトコンポーネントとして機材の操作・維持管理に係る技術指導等

#### (2) 期待される開発効果

- ・ ECATA で養成される航空管制官及び管制技術官が倍増する（基準値：航空管制官 57 名、管制技術官 29 名→目標値：航空管制官 114 名、管制技術官 58 名を想定。協力準備調査にて詳細を確認する）。
- ・ 空港における航空機取扱能力が増強し、航空機運航の安全性が向上する。

#### (3) 他ドナーの動向・ドナー連携の可能性

ビショフツ新空港整備については、アフリカ開発銀行（AfDB）が同空港整備全体の資金調達を主導する機関に任命されており、AfDB 自らも資金供与を行う予定。

#### (4) 被援助国側実施機関：航空管制アカデミー（Ethiopian Civil Aviation Training Academy（ECATA））

#### (5) 実施体制、運営・維持管理体制

ECATA は ECAA の指導に基づき航空管制施設及び機器の運用や維持管理を行っている。ECATA は国際民間航空機関（ICAO）が認めた訓練を通じて長期にわたり人材育成を行っていることから、技術面及び体制面における運営・維持管理能力に大きな問題は認められない。

#### (6) その他特記事項

- ・ 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ・ ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- ・ 本邦技術活用の可能性：機材構成や画面レイアウトへの対応等、ニーズに合わせたカスタマイズが可能な日本製航空管制シミュレーターの強みを活かせる可能性有り。

### 4 本計画に適用する類似案件の教訓

平成 27 年キルギス共和国向け無償資金協力「マナス国際空港機材整備計画」では、

同空港の関係者が計画実施前に研修へ参加し、実際の機材の運用状況を学ぶ機会を得たことが実用的であったとして高く評価されている。本計画においては、新規技術協力において、空港関係者が実際の機材の運用方法について学ぶ機会を提供することを検討予定。

以 上

〔別添資料〕 地図 エチオピア「エチオピア航空管制アカデミー機材整備計画」

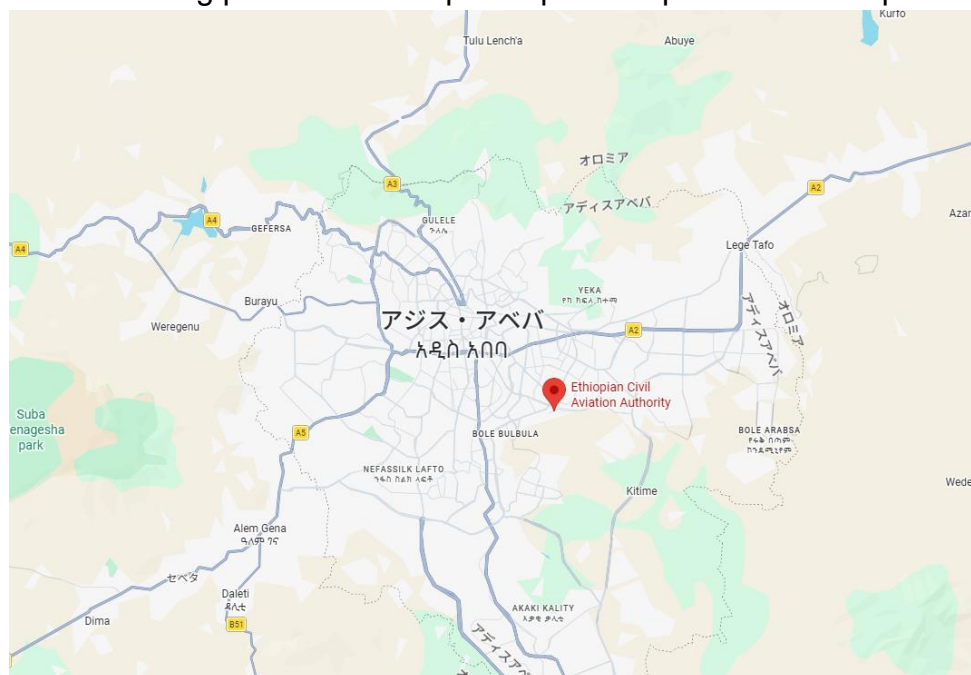
地図 エチオピア「エチオピア航空管制アカデミー機材整備計画」



Map Sources: ESRI, UNGIS.  
The boundaries and names shown and the designations used on this map do not imply official endorsement or acceptance by the United Nations. Final boundary between the Republic of Sudan and the Republic of South Sudan has not yet been determined. Map created in Feb 2025.

出典：United Nations

(<https://www.unocha.org/publications/map/ethiopia/ethiopia-location-map-2025>)



ECATA 位置図（ECAA 敷地内）

出典：Google Maps（地図データ©2026 Google）より JICA 作成